

三 美しき空間 三

ちからとくま



●「出発!!古宇利丸」(Photo:Satoko Onaha)



今帰仁村

# なまきじん

## 広報

*Nakijin*

毎月1日発行

- 今帰仁村民憲章
- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
  - 一、みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
  - 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
  - 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
  - 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

2001年 6月  
307号

# 移動村長室



## 築こう！村の未来を

## みんなの手で……

## 各字行政懇談会はじまる



▲各字懇談会では未来の村づくりに対し様々な意見が寄せられた (写真：越地区)

皮切りにはじめた。

これは開かれた行政を

目指し、平成十三年

度で完了する第二次

村基本計画に変わる

次期計画に村民の意

見を反映させる目的

で開催されたもので、

懇談会には村長以下

三役、役場全課長が

出席し、村民の声を採

聴し質問に応えていく

体制をとっている。

懇談会では、はじめ

に仲里吉徳村長の村

づくりに対する考えを

示し、引き続き、大城

勝助役が平成十三年度の予算

や事業概略を説明した。住民

との意見交換では、関心の高

い北部振興策や市町村合併、

中学校統合に伴う現中学校

の跡地利用計画に質疑が集中

したほか、意見や要望には生

活に密着した道路、排水の整

備改修やゴミ問題がその多く

を占め、役場職員の接遇改善

やサービスの向上を求める意

見もあった。

また、将来の村づくりにつ

いては花と果樹に囲まれた村

づくり、乙羽岳にケープルカ

ーを導入した大型観光施設の

導入など従来の計画にとらわ

れない斬新で夢のある考えも

提言された。

なお、字単位の行政懇談会

終了後も引き続き村内各団体

との意見交換会を進めていく

計画があり、これら行政懇談

会や各意見交換会で出された

意見や要望等については、ま

とまりしだい「広報なきじん」

で紹介していきます。

鹿児島県・沖えらぶ島から

知名町内の小学校六年生を集

めた修学旅行団の一行、七十

五人が五月二十二日、今帰仁

## にぎやかな僕たち私たちと 友達になって

### 沖えらぶ島・知名町小学生と 今帰仁小児童が交流



▲レクリエーションで楽しく交流を図る

小学校を訪れ、同校の六年生

交流会が開かれた。

昨年からはじまった知名町

小学生と村内各小学校との交

流会は、ふれあいをとおして

お互いのことを深く知りあい

小学校時代のよき思い出づく

りをねらいとしている。

体育館で行われた交流会で

は、はじめに今帰仁小学校の

児童を代表して内間銀次くん

が「とてもにぎやかな、明る

い学校、そして僕たちです。

今日の交流会で、ぜひ友達に

なつてくださーい」と歓迎のあ

いさつを述べた後、交流レク

リエーションでは、同じ誕生

月同士の友達でグループを作

る「仲間づくりゲーム」や村

特産品のスイカ争奪の「四人

五脚レース」で大いに盛りあ

がりを見せ、見事レースで一

位となり大きなスイカをゲッ

トした新島拓也くん(知名小

六年)は「みんなが話し掛け

てくれてうれしかった。ゲー

ムも楽しかったし、いい思い

出になりました」と賞品のス

イカを抱え笑顔で話すなど、

短いひと時ながらも小学生同

士のふれあいを心行くまで楽

しんでいた。



▲多くの村民が詰めかけた今年の学対総会

平成13年度 学力向上対策委員会総会

学校、家庭、地域、行政

連携した活動の強化目指す

子供達の生きる力の育成を目的とした平成十三年度の学力向上対策委員会総会が五月十一日、村コミュニティセンターで行われた。行政及び教育関係者をはじめ、多くの父母や地域の方が詰め掛けるなか、はじめに主催者を代表して山城清光村教育長が「本村の将来を維持、発展させていく知・徳・体の調和が取れた心豊かな子供達の育成に村民一人ひとりが果たす役割を自覚し取り組んでいただきたい」とあいさつを述べ、学対への理解と協力を呼びかけた。

今年、学力向上対策推進期間の最終年度にあたることから今日までの取り組みを総括し、これまでの成果や課題を踏まえ、基本・基礎の確実な定着を図ると共にすべての学力の基礎となる読解力の向上や地域の人材を活用した体験的な学習による豊かな人間性や社会性の育成等を重点実践事項とし、各部会から具体的な施策を提示。これまで以上に家庭、地域、学校、行政が相互理解をもって連携した

あまくておいし〜い  
今帰仁スイカPR

第4回スイカまつり



▲おいしいスイカの試食におもわずにっこり

村の特産物「今帰仁スイカ」を広くPRし、まつりを通して村の活性化につなげようと五月十二、十三の両日、今帰仁の駅「そーれ」前広場において第四回スイカ祭り（主催・今帰仁スイカ部会）が開催された。今年、台風一号の接近に

よるあいにくの悪天候にもかかわらず、産地の安いスイカを求め村外からもお客さんが詰め掛けた。オープニングセレモニーは、勇壮ないまじん太鼓で幕開け、会場ではスイカの即売のほか、スイカ割りや色々なスイカの展示などスイカに関

する様々なアトラクションを用意、また、特設ステージでは部会員らによる民謡ショーも繰り広げるなど、訪れた観客らを楽しませた。主催者の仲本義朗・部会長は「今年、スイカは年明けから天候に恵まれ、玉のり、糖度のすべてに例年のない最高の出来。しかし、季節外れの台風接近でいつもに比べお客さんが少ないのが残念」と恨めしそうに天を仰いでいた。

今年のまつりは、悪天候にたたられたが、スイカの出来は最高だけに、生産者は梅雨明け後の市場大幅需要に期待を寄せていた。

取り組みを強化していくことを確認した。

また、実践発表では児童生徒を代表して大城いつかさん（兼次小六年）と鳥袋拓也くん（兼次中三年）が自分自身の読書の実践について発表、その後、学校、家庭、PTAの各代表がそれぞれの立場から実践した取り組みについて報告した。

古宇利区長に

小浜美千子さん

五月二十日付けで古宇利区長が玉城吉武さんから小浜美千子さんに代わりました。

これまで長年にわたり、

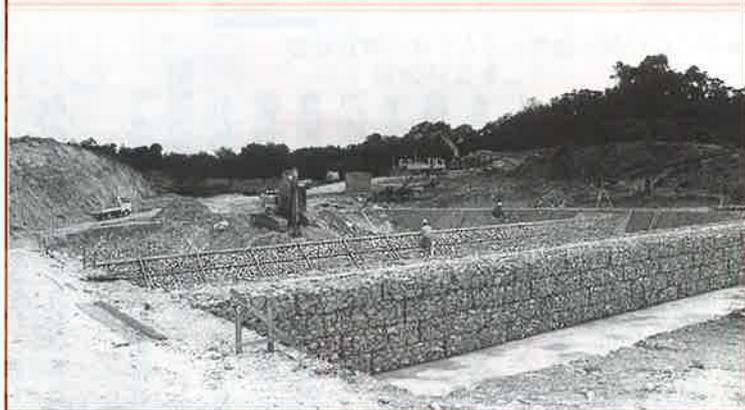


古宇利区長  
小浜美千子さん

字及び村行政の発展に尽くされました玉城さん、大変ご苦労様でした。また、新区長の小浜美千子さんに皆様のご協力をよろしくお願ひします。

# 村立統合中学校 ニュース①

～村立統合中学校建設の経過～



▲着々と工事が進められる村立統合中学校建設現場

## (1) 村立統合中学校設置の背景

本村では、中学校の効率的運営、教育効果、教育財政等の面から学校規模の適正化について、平成元年三月定例議会に取り上げたことから、議会を中心に検討を進めて参りました。平成七年には、学校規模の適正化即ち学校統合の是非を具体的に検討する必要があると、三月定例議会にお

いて「学校統合調査研究委員会の設置に関する条例」を、全会一致で可決しました。

これにより設置された「学校統合調査研究委員会」は、学校統合を考える視点として①学校統合に関する基本的な考え方

②規模校と適正規模校との比較

③学校統合による長所・短所を掲げ、平成七年八月から二年に及ぶ調査研究を行いました

た。この間、本部町、大宜味村、石垣市などの先進地域に足を運び、具体的な調査研究を実施するなど精力的に検討を進め、その結果、教育長に対し「統合が望ましい」と答申しました。

## (2) 村民合意の形成過程

「学校統合調査研究委員会」の答申を受け、平成十年三月定例議会では、村長より提案された「今帰仁村立中学校統廃合推進委員会(以下、統廃合推進委員会という)の設置に関する条例」を可決しました。

これにより設置された統廃合推進委員会は、統合に対する合意形成を最大の目標に、議会、区長会、各種団体に、長会、地域に対する説明会を精力的に展開しました。特に地域に対する説明会は、統合の是非や意見を村民から直に聞くことを目的に一日一字に限定し、各字公民館において実施されました。これらの活動を行う中で統合の必要性が、次第に村民に理解される

とともに、統合中学校建設に伴う懸念や要望事項も明らかになってきました。統廃合推進委員会は、各種説明会を通して得られた村民の意見を集約する形で平成十一年七月に次の通り統合に関する基本方針を確立し、推進委員会便りを通じ村民に通知しました。

①村内四中学校を一校に統合する。開校は平成十五年四月一日を目標とする。

②村内の中心部に適地を求め、新生・創造の魅力ある学校を建設する。

③新生中学校建設にあたっては、仮称「中学校建設委員会」を設置するなど、行政が一体となって推進していく体制を構築する。

④スクールバスを準備し、遠隔地の通学に対応する。

⑤利用については、計画作成段階で民意が反映できるように配慮する。

⑥学校は、地域の文化の発信地、憩いの場としてその機能の強化に努める。

⑦統合に向けて、村内小中学校の交流する場を設置し、

統合後の学校生活が円滑に送れるよう最大の配慮をする。

⑧平成十四年度当初に学校設立準備ができるよう上級機関との連絡を密にするとともに、住民参加型の学校造りができるよう体制を整える。

## (3) 現在の取り組み状況

統廃合推進委員会の決定を受け、学校統合に向けた準備作業が学校教育課を事務局に着手と進められています。学校用地も、役場近くの適地(字仲宗根アハンナ原)に三万三千四百㎡を確保しました。また、各分野の有識者で組織する「今帰仁村立統合中学校建設検討委員会」も設置され、統合中学校建設に対する基本構想をまとめあげました。現在は、この構想に基づき学校用地の造成工事が急ピッチで進められています。次回は統合中学校の基本構想についてお知らせします。

# なきじん この人 (6)

金管バンドの指導に情熱をそそぐ  
天底小教諭 渡慶次淳子さん



十三年前、海邦国体・相撲競技のアトラクションで、はじめて指導した子供達の大演奏に感動、それ以来、行く先々の赴任校で金管バンド部の顧問を引き受け、これまで数々の賞を受賞させてきた。

トランペット、トロンボーン・西日の射す教室に金管楽器の力強い音が響く。天底小学校金管バンド部の練習風景だ。その中心で熱心に指導するのは、同校教諭の渡慶次淳子先生。このほど、海洋博公園で開かれたマーチン

グ・芸能フェスタで見事、天底小学校金管バンド部を三連覇に導いた。

「自分は(楽器を)うまくふけないけれど、こんなふうに表示できなかったらと音をイメージしながら指導しています。でも、子どもたちはその音を見事に表現するんですよ」と子供達の感性にはいつも驚かされていようだ。

天小金管バンドは四十四人で編成され、それぞれのパートが、互いの持分をしつかりこなすことによつてはじめて素晴らしいハーモニーが醸し出される。そのため練習では単純な音出しが中心となり、練習に飽きがこないように工夫するのだとか。最近では、これまでの教え子たちがわざわざ訪ねてきてくれて指導し

てくれるようでそんな時、教え子とのつながりを喜び「(指導を) 続けてきてよかったと実感する」と話す。「よい成績を修めるだけが目標ではなく、継続することの大切さを教え、あいさつ、練習時間遵守などのしっかりした生活態度を身につけさせることも忘れない」と入部時には必ず子どもたちと決まり事を約束するという。「父母も指導については理解を示してくれるし、練習時やコンクール派遣等の協力態勢も素晴らしい」と指導に専念できることに感謝する。

今年二月には県代表として九州大会に出場。「様々な体験は子供達の自信につながり、今後の成長に大きく活かされる。できることならレベルの高い大舞台で経験させてあげたい」と目下、九州大会の派遣がかかる沖縄県吹奏楽コンクールに向け練習に余念がない。

「子どもたちは誰でも素晴らしい能力と可能性を秘めている。これからもそれらを引き出す手助けができればうれしいです」と微笑んだ。

## わきあいあいと みんなで楽しく 健康づくり

「ゆいまーる健康村づくり事業」スタート



▲体をバランスよく鍛えるため、足だけを使ってのボール運びゲーム

自分自身や回りの人の健康を互いに気遣いあい、安心して暮らせる村づくりを目指す「ゆいまーる健康村づくり事業」が今年も六地区(今泊、与那嶺、仲尾次、渡喜仁、呉我山、古宇利)でスタートした。

この事業は、村内に住む六十五歳以上の高齢者を対象に地域の人との交流をもち、生きがい、やすらぎ、楽しみを見出しながら健康づくりを進めていこうと平成十一年度からはじまったもので今年で三年目を迎えた。

各地区ごとに行なわれる年七回のプログラムには、グラウンドゴルフやカラオケなどのレクリエーションのほか、料理講習会、医師による講話など、住民自身が自らの健康づくりを実行できる内容を盛りこんでいる。

六十五歳以上の方ならどなたでも参加できるとのこと、各地区では気軽に声をかけてほしいと多くの人が参加を呼びかけている。

なお、詳しいお問い合わせは、保健予防課(保健センター内) 五六―一三四まで



# フォト ニュース

湧川区伝統芸能団  
(代表・与儀常次区長)  
が、このほど嘉手納町  
内の老人施設・比謝川  
の里を訪ね慰問公演を  
行った。

この日は、豊年祭で  
行われるシマの伝統芸



▲生の伝統芸能にお年寄もうっとり

能の中から七福神、棒術、  
路次楽を披露、舞台が始ま  
るとお年寄りらはじっと演  
技を見詰め、繰り広げられ  
る一つひとつの伝統芸能を  
堪能した。

公演を楽しみにしていた  
今泊出身の新城邦正さんは  
「今帰仁を離れて長いこと  
なるが、棒や踊りを見ると  
ふるさと思ひ出す。いつ  
ペーでいきとーたん」と手  
をたたき喜んでいた。

この日の公演には湧川区の  
青年ら十四人が出演。練習を  
重ねてきた見事な演舞に指導  
にあたった字の年配の方々も  
「上出来」と地域の伝統芸能  
を受け継ぐ頼もしい若者らの  
頑張りに笑顔を見せていた。

## むらの話題

「いつペーでいきとーたん」  
湧川区伝統芸能団が慰問公演

広報なきじんに  
情報をお寄せ下さい。

〒905-0492  
今帰仁村役場「広報なきじん」



▲王座奪回を果たした今帰仁クラブナイン

第五十六回今帰仁村野球大  
会の決勝戦が四月二十五日、  
村運動公園サブグラウンドで行  
われ、今帰仁クラブが今帰仁  
マリリーズを三対一で破り三年

## 今帰仁クラブが三年ぶりのV2 第五十六回村野球大会

ぶり二度目の栄冠に輝いた。  
試合は与那嶺久(クラブ)と大  
城泉規(マリリーズ)の両本格派  
の投げ合いが続く中、一対〇  
で迎えた七回、今帰仁クラブ  
は二死二、三塁の好機にベテ  
ラン田港朝典が走者二人を返  
す二塁打で二点を追加、しか  
し、その裏、三連覇を狙う今  
帰仁マリリーズも二本の長短打  
で反撃を見せたものの、後続  
を打ち取られ力尽きた。

今帰仁クラブの嶺井雄二監  
督は「今大会はベテランと若  
手がうまくかみ合いチームの  
持ち味をうまくだせた。さら  
に細かいプレーに磨きをか  
け、郡大会では久しぶりの上  
位を目指したい」と話した。

### 個人賞

- 殊勲賞 与那嶺 久(クラブ)
- 敢闘賞 大城泉規(マリズ)
- 打撃賞 一位 真栄田隆之(クラブ)
- 二位 大城泉規(マリズ)

## 力強いバチさばきでエイサー披露 古宇利子ども会、沖子連まつりに参加

「すてきな自分を見つけよ  
う」をテーマに県内各地域を  
代表した子供たちが日ごろの  
体験活動や伝統文化活動を発  
表しあう、第二十二回沖子連  
子ども祭りが三月二十五日、  
具志頭村農村環境改善センタ  
ーで行われた。

今帰仁村からは古宇利子ど

も会(会長・仲宗根美生以下  
十七名)が参加。息のあった  
堂々たる演舞でエイサー(風  
の結い人ほか)を披露した。  
引率した古宇利子ども会育成  
会長の宮城博政さんは「子ど  
もたちには離島に暮らしてい  
ることをハンディと感ずるこ  
となくいるんなことに積極的



▲堂々たる演舞を披露した古宇利子ども会

に参加し大きく成長してほし  
いです」と話した。



Photo News

「駅伝王国」今帰仁復活！  
やんばる駅伝で二位入賞



▲健闘した今帰仁チームのメンバー

いる第十一回やんばる駅伝・伊平屋島大会が五月十二日、伊平屋島マラソンコースで行われ、今年から沖えらぶ島の知名町もオープン参加するなど、過去最高の十六チームで健脚を競いあった。

北部十二市町村と奄美圏域のランナーやその関係者が駅伝を通して地域間交流を続けて

今回の今帰仁チームはメンバーの若がり図られ、エース山城大樹、新人の諸喜田寿、島袋茜が初出走、中でも諸喜田は二区でチーム唯一の区間賞を獲得しチーム三位入

賞の立役者となった。レースは一区の島袋茜が六位と好位置でタスキを渡すと二区諸喜田が五人抜きで快走で一躍トップに。その後は、三連覇を狙う名護南チームと強豪、本部町チームにかわされたものの、後続の選手もふんばり見事三位でゴール。昨年の八位から大躍進の健闘ぶりを見せた。

試合後、与那嶺誠監督は「今年は早い時期から合同練習に取り組むなど、チーム全体でつかんだ上位入賞」と久しぶりの好成績に充実感あふれる笑顔を見せていた。



▲作業は日が暮れるまで続けられた

健全な子供たちの育成を目指すスポーツクラブ今帰仁(代表・矢貫明子)の親子七十人がこ

「きれいになつたよね」  
SC今帰仁が親子でビーチクリーン

のほど、運動公園裏の「村民の浜」でビーチクリーンを行った。

クラブ代表の矢貫さんは、「地元の素晴らしい環境を安心して使えるように自分たちの手できれいにしていく気持ちをもってもらいたいです

ね」と話し、親子で考える環境教育にも役立っている。参加した親子らは、打ち上げられたゴミやガラスの破片などを一つひとつ丁寧に拾い集め

「浜に来た時はいつもゴミ拾いをしたいです。」と明るく話していた。

華麗な演技で天底小が三連覇  
第十六回海洋博公園マーチング・芸能フェスタ



▲観客を魅了した天底小マーチングバンドの皆さん

ウィーク恒例の目玉行事で県内各地から多くの団体が参加のものと技を競い、中でも沖繩の海と空をイメージしたブルーのコスチュームで登場した天底小マーチングバンドは「アメージング」「ブラバド」の二曲を披露、ほぼ完璧にこなした華麗な演技と力強いサウンドは他を圧倒し、

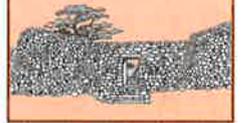
青空が広がる本部町・海洋博記念公園で五月四日、県内のマーチングバンドが競演する第十六回海洋博公園マーチング・芸能フェスティバルが開催され、自由演技の部に出場した天底小学校が最も素晴らしい演奏演技に贈られる最優秀賞を三年連続で獲得する快挙をみせた。

さわやかなサウンドと軽快な演技で観客を魅了する同フェスタは同公園のゴールデン

詰め掛けた観客からもひととき大きな拍手が贈られていた。また、同時に行われた中編成(十六人以下)の部でも昨年に続き一位に輝くなど、天底小学校の活躍が際立った大会となった。

顧問の渡慶次淳子先生は「新学期早々でメンバーの入れ替わりのあった中、子どもたちはよく頑張った」と三連覇の達成を素直に喜んでいました。

# 今帰仁のグスクを歩く ① 今帰仁城跡とその周辺



昨年十二月、今帰仁城跡が『琉球王国のグスク及び関連遺産群』の一つとして世界遺産リストに登録された。ここで重要なのは、今回の登録により「村の宝から世界の宝へ」という飛躍を遂げた事。あわせて、関連遺産群として多くのグスクや遺跡全体の代表として登録されたことだ。つまり、今帰仁グスクはやっぱり地域を代表するグスクであった

で、当然これを支えた多くの集落や田畑、御嶽や拝所など関連する遺産も同時に世界遺産として登録されたと言える。

そこで、登録をきっかけに私たちの身近な世界遺産を訪ね、その意義を再確認したい。今回は、まず代表となった、今泊の『今帰仁城跡』とその周辺地域のグスクを訪ねてみたい。今帰仁城跡は沖縄本島

を三分した三山鼎立の時代(十四〜十五世紀頃)に北山の拠城として、中国と貿易を行い栄えた雄大な城壁を誇るグスクで、按司の居城として君臨した姿を今に見ることが出来る。城壁はねずみ色の本部石灰岩を積み上げ、高いところでは七ツ、面積では七ツ以上を計り県内でも屈指の規模を誇る。城跡の発掘調査では城内の建物の様子や、出土品から貿易の様子を推定することが出来る。

他方、今帰仁城跡の周辺には規模こそ小さいがミームングスク、シニゲンニといった小さなグスクやクバの御嶽や

火の神などの拝所、今帰仁ムラ跡などの遺跡が分布している。親川(エーガー)などの泉も参詣者が絶えない旧跡で、志慶真川とともに水を供給し、かつては、美しい水田風景を創出した。今泊の集落は今もフクギ並木が保全され、碁目状に整備された集落で、かつて城下町や港街として栄えたのだろうと想像する。

グスクとともに、今帰仁の歴史や文化が育んだ景観は、今帰仁城跡を演出する貴重な財産で今もグスクを支え世界遺産と一体となって、心の風景を創出している。

(文化財係 宮城弘樹)



▲空からみた今帰仁城跡



▲今泊のフクギ並木



▲シニゲンニ

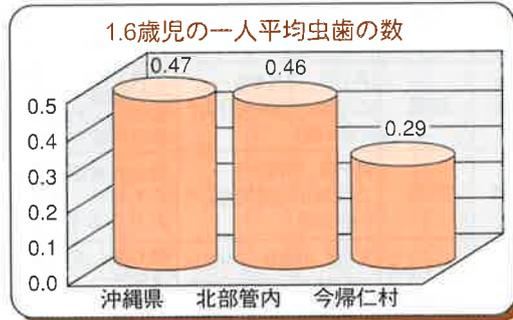
# 保健婦 だより

## 歯がつくる こころの元気

### 歯の衛生週間

六月四日～十日は、歯の衛生週間となっています。この機会に、歯の大切さをかみしめてみませんか？

「歯が丈夫な人は長生きする」「口は全身の鏡」と昔からいわれます。最近の研究でも、歯と体の病気が関連することが少しずつわかってきました。しっかりとめる人は、老後も健やかです。幼い時期からの虫歯予防、そして大人も歯周病等の予防のために、正しい歯みがきや年に一・二回の検診などで、大切な歯を



※今帰仁村は9～11年度の合計  
※北部管内・沖縄県は10年度  
※北部管内は名護市を除く  
※沖縄県は小児保健協会に委託した市町村

守りましょう。

グラフは、村の一歳六ヶ月児と三歳児の一人平均虫歯の数です。一歳六ヶ月児では県平均・北部保健所管内平均より低くなっているのに対し、三歳児では北部管内より低いものの、県平均より高い状況です。

村においては、幼児の歯科相談も行っています。(対象者：二～四歳)。ぜひご活用下さい。

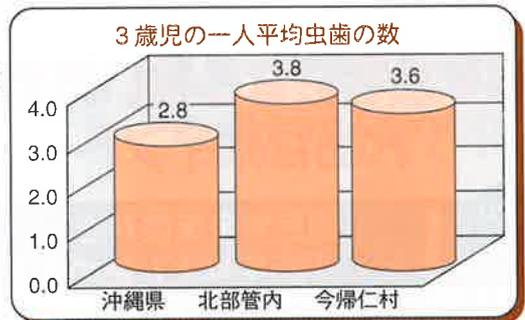
## 北部初！ 指定痴呆対応型 共同生活介護事業所

### 「グループホームほしくぼ」着工

痴ほうを持つ高齢者を対象とした民間介護施設「グループホームほしくぼ(代表・嘉陽律子)」の起工式がこのほど、湧川地内で行われた。

これは国の進める痴ほう性高齢者に対する介護支援対策の一つで、小規模(定員九名)ながらも痴ほうに関する専門的な知識や経験を有する職員を24時間配置し、家庭的な環境のもと、日常生活が送れる

よう援助することで、痴ほうの進行を緩やかにし、安定した生活を支援するもの。県内では、これまで七カ所のグループホームが既に開所しており、同施設も七月オープンに向けて着々と工事が進められている。  
なお入所等に関するお問い合わせは、5612690「グループホームほしくぼ」まで



※今帰仁村は9～11年度の合計  
※北部管内・沖縄県は平成10年度

## 村母子保健 推進員に 委嘱状交付

妊産婦や乳幼児の健診を勧め、育児指導、栄養相談など母子保健に関する訪問活動を続ける村母子保健推進員の今年度、第一回目の定例会がこのほど行われ、新人二人を含む二十一人の推進員に委嘱状が交付された。  
研修を兼ねたこの日の定

### 新しい母子保健推進員です



玉城・呉我山担当  
長堂 恵子さん



越地担当  
仲里 綾子さん

例会には、子育てアドバイザーの宮里マチ子先生をお招きし「子どもをもつ親とのかかわり方」と題した講演会も行われるなど、参加者らは熱心に耳を傾けメモを取る姿が見られた。

# Information

# くらしの 知って得する情報

## 募集中 平成13年度 公民館講座案内



講座名	講師	定員	開催時期	講座内容
なきじんを案内する(歴史)	仲原 弘哲 石野 裕子 (歴史文化センター)	25名	月1回 7月から ご8時から9時30分まで (全5回)	今帰仁の歴史・文化を通して、今帰仁のガイドを養成する。
やんばる、そしてなきじんの自然(自然)	安座間安史	20名	月1回 7月から ご7時30分から9時まで (全5回)	やんばるそしてなきじんの自然は、人々の生活とどのように関わって来たのか。
ボランティアってなに?(ボランティア)	酒井ひろ子	20名	月1回 7月から ご8時から9時30分まで (全5回)	子育てをやっている時だからこそ、高齢化社会だからこそ、ボランティアを必要としている側の地域づくりを。
あたいぐわーはたいぐわー(農業)	片岡 俊哉	20名	月1回 9月から ご8時から9時30分まで (全5回)	自分の家庭で作りたいものを作り、あまったらまわりにおすそわけ。
読む楽しさ 聞く楽しさ (読み聞かせ)	玉城みち子	希望する者 (各回参加自由)	月1回 土曜日 7月から ご3時から4時30分まで (全5回)	読む楽しさ、聞く楽しさを知る。

### ●申し込み方法

今帰仁村中央公民館に直接、または電話で申し込んで下さい。

(先着順に受け付け、定員になりしだい締切ります。)

### ●受講料

受講料は無料ですが、材料費は受講者の自己負担となります。

### ●問い合わせ

**今帰仁村中央公民館**  
電話 56-2645・2647

※都合により、日時を一部変更する場合があります。※講座をスタートする前にお知らせの通知を致します。

## 無年金者にならないための大切なポイント

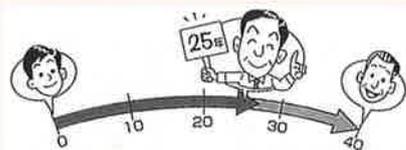
保険料を未納のままにしておくと、老後の支えとなる「老齢基礎年金」、万一病気やケガで障害が残ったときの「障害基礎年金」、もしも夫が亡くなったときの「遺族基礎年金」が受けられない場合があります。

忘れないでください!

ポイント

### 1 国民年金保険料を「25年以上」納めます!

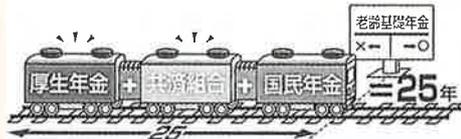
保険料は20歳から60歳になるまでの40年間納めることになっていますが、原則として25年以上納めると老齢基礎年金が受けられます。



ポイント

### 2 国民年金は他の公的年金(厚生年金、共済組合)と合算できます!

老齢基礎年金は、国民年金と他の公的年金制度を合算して「25年以上」の受給資格期間があれば受けられます。



## 国民年金は老後だけではなく不測の事故にも備えます

もしも

病気やケガで障害が残ったら...

### 障害基礎年金



国民年金加入中に病気やケガをし、障害が残ったとき、一定期間保険料を納めている等の要件を満たしていれば、障害の程度に応じて障害基礎年金が支給されます。

もしも

夫に先立たれたとき...

### 遺族基礎年金



国民年金加入中の夫が亡くなったとき、一定期間保険料を納めていて、18歳未満の子がいる等の要件を満たしていれば遺族基礎年金が支給されます。

### ●年金額 (平成13年度の額)

1 級障害..... 1,005,300円

2 級障害..... 804,200円

### ●年金額 (平成13年度の額)

子のある妻..... 1,035,600円

子のみ..... 804,200円

※子が2人以上の場合、さらに加算があります。

## お子さんの健やかな成長を支える

# 児童手当支給制度

### 児童手当とは

家庭における生活の安全に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成および資質の向上に資することを目的として支給される手当です。



### 児童手当を受給できる人

6歳未満（6歳到達後最初の年度末まで）の児童を養育している方で、前年（1月から5月までの月分については前々年）の収入が一定の額未満の場合に受けられます。

### 6月は現況届の月です

児童手当現況届は、毎年1回すべての受給者自身が出す届です。この届は受給者の状況などを毎年1回確認するための届けです。もしこの届をださないと引き続いて受給資格があっても、6月以降の手当の支払を受けることができなくなりますので、必ず提出して下さい。

なお、届は下記の日程で村役場福祉課で受け付けますので、加入年金手帳・印鑑

日 時	午前9時～午後4時まで (午後12時～1時を除く)
6月13日 (水)	今泊・兼次・諸志・与那嶺 仲尾次・崎山・平敷・越地 謝名・仲宗根
6月14日 (木)	玉城・呉我山・湧川・天底 勢理客・渡喜仁・運天 上運天・古宇利

※日時等の調整できますので、福祉課児童手当担当までお問い合わせ下さい。

## お知らせ

### 所得制限限度額を大幅に引き上げ、 支給対象を拡大します！

所得制限の引き上げにより、今まで受給していない方も受給できる場合があります。新たに対象となる方は、村役場・福祉課へ「認定請求書」を提出してください。

※ご不明な点等、詳しいことは村役場福祉課・児童手当担当までお問い合わせ下さい。

TEL 56-4189

- 村社会福祉協議会へ
- 佐久川忠英さん（謝名二七九）より妻、ツル様の香典返しとして十万円
  - 上間克美さん（運天三三）より母、カメ様の香典返しとして五万円
  - 長田博充さん（仲宗根二七七）より母、節子様の香典返しとして二十万円
  - 小那覇安達さん（渡喜仁三二）より母、カナ様の香典返しとして五万円
  - 小那覇安達さん（渡喜仁三二）より母、カナ様の香典返しとして五万円
  - 中村喜文さん（運天一〇五）より妻、ヨシ様の香典返しとして五万円

## 県立北部病院からお知らせ

# 内科外来受付時間が 変わりました

内科医師の欠員により6月1日より  
当面の間診療受付時間が

**午前8:30～午前11:00**

に変わります。

皆様にご迷惑をおかけしますが、  
御理解と御協力をお願いします。

**県立北部病院**

業務課 ☎52-2719

## ひとりで悩んでいませんか 被害相談窓口

警察では、各種の被害相談窓口を設け、さまざまな相談に応じています。

被害者本人からだけでなく、ご家族や友人からの相談も受け付けています。

ひとりでお悩みではありませんか。秘密は確実に守ります。どうぞ勇気を出して相談して下さい。

### 警察の相談窓口

- 性犯罪被害者相談専用電話 ☎098-868-0110  
(性犯罪被害に関する相談)
- ヤングテレホンコーナー ☎098-862-0111  
(少年の悩みごとや保護者等が抱えている少年問題などに関する相談)
- 暴力情報110番 ☎098-862-0007  
(暴力団犯罪などに関する相談)
- 悪質商法110番 ☎098-861-9110  
(悪質商法など生活経済犯罪の被害に関する相談)
- 警察安全相談 ☎098-863-9110(#9110)  
(犯罪等による被害の未然防止に関する相談、その他県民の安全と平穩に関する相談)

### 関係機関・団体の相談窓口

- 暴力団情報・相談 ☎098-868-0893  
(暴力団に関する相談) 【暴力団追放沖縄県会議】
  - 交通事故相談 ☎098-868-2291  
(交通事故に関する相談) 【交通安全協会連合会】
- ※ケースによっては、その他の機関・団体への紹介も行います。

## 表紙・「美しき空間」

北山高三年  
小那覇 聡子



この写真は、古宇利島にむかう船の中での1枚です。子供たちが船に乗って楽しそうにしているところを撮りました。

「」  
寄  
付

# 6月/水無月

1 金	○離乳食実習 (13:00～ 保健センター)
2 土	○おもちゃ図書館 (9:00～12:00 コミセン) ○日本脳炎予防接種【幼・小・中・もれ者】 (12:30～13:00受付 保健センター)
3 日	○各字子ども会正副会長会 (9:00～ 村民体育館)
4 月	○健康相談 (9:00～12:00 保健センター)
5 火	○区長会 (14:00～ 2階会議室) ○ゆいまーる事業 (与那嶺) ○フレッシュママ教室 (13:00～15:30 保健センター)
6 水	○リハビリ
7 木	○ゆいまーる事業 (仲尾次)
8 金	○学対・字PTA会長・子ども会育成会長等研修会 (19:30～ 中央公民館・講堂)
9 土	○小学生ムラ・シマ講座 (10:00～ 歴史文化センター)
10 日	○乙羽朝市 (7:30～9:00 中央公民館中庭)
11 月	○健康相談 (9:00～12:00 保健センター)
12 火	○フレッシュママ教室 (13:00～15:30 保健センター)
13 水	○リハビリ ○日本脳炎予防接種【幼】(13:00～13:30受付 保健センター) ○ゆいまーる事業 (呉我山)
14 木	○1才児半・3才児検診 (13:00～13:30受付 保健センター) ○定例教育委員会
15 金	○学校職員交流集会 ○ゆいまーる事業 (今泊)
16 土	○おもちゃ図書館 (9:00～12:00 コミセン) ○セリ市 (10:30～ セリ市場) ○学対講演会 (兼次小・中学校区)
17 日	○村ミニバスケットボール大会 (9:00～ 村民体育館)
18 月	○健康相談 (9:00～12:00 保健センター)
19 火	○フレッシュママ教室 (13:00～15:30 保健センター)
20 水	○区長会 (14:00～ 2階会議室) ○「朝読み夕読み」ポスター・標語・作文コンクール表彰式 ○ゆいまーる事業 (古字利) ○リハビリ

21 木	○日本脳炎予防接種【もれ者】 (16:30～17:30受付 保健センター)
22 金	○村老人クラブ大会 (14:00～ コミセン) ○ゆいまーる事業 (渡喜仁)
23 土	○おもちゃ図書館 (9:00～12:00 コミセン) ○慰霊の日
24 日	○海神祭 (運天漁港内) ○村ジュニアリーダー老人ホーム慰問
25 月	○健康相談 (9:00～12:00 保健センター) ○農業委員会総会
26 火	○ピアママ教室 ○狂犬病予防注射【もれ犬】 ○フレッシュママ教室 (13:00～15:30 保健センター)
27 水	○リハビリ
28 木	○デイケア
29 金	
30 土	○村青少年の主張大会 (14:00～16:00 コミセン) ○国頭郡野球大会 ○おもちゃ図書館 (9:00～12:00 コミセン)

# 7月/文月

1 日	○国頭郡野球大会 ○村PTAバレーボール大会 (8:30～ 村民体育館)
2 月	○健康相談 (9:00～12:00 保健センター) ○住民検診
3 火	○ゆいまーる事業 (与那嶺) ○DPT (13:00～15:30受付 保健センター)
4 水	○リハビリ ○住民検診
5 木	○区長会 (14:00～ 2階会議室)
6 金	○ゆいまーる事業 (仲尾次) ○住民検診
7 土	○おもちゃ図書館 (9:00～12:00 コミセン)
8 日	

航海の安全と豊漁を祈願する

## 海神祭

とき：6月24日(日)  
ところ：運天漁港(クンジャー)  
お問い合わせ 56-2226 (村漁協)  
主催/今帰仁漁業協同組合

先日、北山高校でよりよい学校づくりを目指そうと生徒と教師が語り合うシンポジウムが開かれた。それぞれの立場から意見を出し合い、そのための努力を双方で誓い合い、約束しようというもの。その取り組みに生徒自ら主体的に関わったと聞き改めて感心した。生徒達には、ここ今帰仁にいても広い視野と、柔軟な思考力を身につけ大きく成長してもらいたい。

そんな中、平成十七年度をめぐりにした県立高校の統廃合の協議が進められているもよう、村立高校として親しまれてきた北山高校も例外ではないようだ。特色ある地域の学校として残していけるよう、子ども達以上に地域の大人たちの頑張りも必要な時では・・・。

## 編集後記